

第17回 造血器腫瘍研究会プログラム(案)

兼、がん研究開発費「がん幹細胞に対する新規分子標的治療薬の開発を目指した基盤研究」
班会議

日時：2013年2月1日13時～2月2日12時

会場：シーガイア・コンベンションセンター 2階 オーチャード

2月1日(金)

13:10 はじめに 事務局 北林 一生(国立がん研究センター)

エピゲノム 座長 岩間 厚志(千葉大学)、千葉 滋(筑波大学)

13:15 MPN 発症における JAK2 と TET2 変異の役割

亀田 拓郎、幣 光太郎、北中 明、下田 和哉

(宮崎大学医学部 消化器血液学分野)

13:30 NPM 変異体による AML 発症モデルマウスの作製

小川原 陽子(国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍)

13:45 MDS 発症におけるポリコーム遺伝子 EZH2 の関与

武藤 朋也(千葉大学大学院医学研究院 細胞分子医学)

14:00 TET2 機能低下による T 細胞リンパ腫発症のモデリング

武藤 秀治(筑波大学医学部 血液内科)

14:15 MDS で同定されたポリコーム複合体 PRC2 構成因子 EED 変異体の機能解析

上田 健、本田 浩章(広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野)

14:30 RUNX1 変異と BMI1 の協調作用による MDS/AML の発症機序

原田 浩徳¹、井上 大地²、原田 結花¹、北村 俊雄²

(¹広島大学原爆放射線医科学研究所、²東京大学医科学研究所)

14:45 ASXL1 変異体による MDS 発症メカニズムの解析

井上 大地、北村 俊雄(東京大学医科学研究所 細胞療法分野)

15:00 休憩(15分)

基調講演 座長 森下 和広(宮崎大学)

15:15 mTOR 調節因子による造血幹細胞と白血病幹細胞の制御

中田 大介(Department of Molecular and Human Genetics, Baylor College of Medicine)

代謝関連 座長 渡邊 利雄(奈良女子大学)

16:15 活性型 K-Ras 変異による白血病発症における mTOR 複合体1の役割
星居 孝之(金沢大学 がん研)

16:30 クラスリン小胞形成因子 SMAP1 の欠損は細胞内小胞輸送の異常をきたし、骨髄異型性症候群を誘因する

昆 俊亮(東北大学 加齢医学研究所 免疫遺伝子制御研究分野)

16:45 CALM-AF10 の CALM 部分はどのように白血病発症へ関与するか

鈴木 麻衣¹、篠 実花¹、相川 祐規子¹、田中 宏和³、松村 到³、金倉 譲⁴、北林 一生²、渡邊 利雄¹

(¹ 奈良女子大学大学院 人間文化研究科、² 国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍、³ 近畿大学大学院 医学系研究科 血液膠原病内科、⁴ 大阪大学大学院 医学系研究科)

16:55 AF10 コンディショナルノックアウトマウスの作製

小河 穂波¹、鈴木 麻衣¹、丹賀 直美¹、篠 実花¹、相川 祐規子¹、北林 一生²、渡邊 利雄¹

(¹ 奈良女子大学大学院 人間文化研究科、² 国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍研究分野)

17:05 クラスリン被覆小胞構成因子 CALM による正常造血及び白血病発症の制御機構

頼 晋也(近畿大学 血液・膠原病内科)

17:20 休憩 (15分)

治療法新規開発その他 座長 下田 和哉 (宮崎大学)

17:35 2-ヒドロキシプロピル-β-シクロデキストリンの抗腫瘍効果

久保田 寧、横尾 眞子、木村 晋也(佐賀大学医学部 血液・腫瘍内科)

17:45 Loss of p53 leads to leukemic transformation in a murine model of JAK2V617F-induced polycythemia vera

木住野 貴子、片岡 圭亮、黒川 峰夫(東京大学 血液・腫瘍内科)

17:55 次世代シーケンサーを用いた DNA 脱メチル化薬標的遺伝子の特定

松井 啓隆(広島大学 原医研がん分子病態)

18:10 Hes1 による白血病発症機序の解析

内田 智之、北村 俊雄(東京大学医科学研究所・細胞療法分野)

18:25 ATLにおける NDRG2 発現低下は PTEN 不活性化に伴う恒常的な PI3K 情報伝達系活性化を導く

中畑 新吾(宮崎大学医学部 腫瘍生化学分野)

19:00 懇親会

会場：シーガイア・コンベンションセンター 3階 海峰

2月2日(土)

白血病関連遺伝子群 座長 横山 明彦(京都大学)、中島 秀明(慶応義塾大学)

8:30 SEPT9-ABL1 融合遺伝子による白血病発症機構について

松下 弘道、安藤 潔(東海大学医学部 血液・腫瘍内科)

8:40 8q24 異常を伴う造血器腫瘍における PVT1 遺伝子異常の解析

名越 久朗、滝 智彦、谷脇 雅史(京都府立医科大学 分子診断・治療センター)

8:55 MLL 関連幹細胞白血病と PLZF

野阪 哲哉¹、小埜 良一¹、中島 秀明²、北村 俊雄³ (¹三重大学 分子遺伝、²慶応義塾大学 血液内科、³東京大学 医科研)

9:10 MLL 関連白血病における TIP60 の役割

山形 和恒(国立がん研究センター研究所 造血器腫瘍)

9:25 MLL fusion の作用メカニズム

横山 明彦(京都大学 メディカルイノベーションセンター)

9:40 C/EBP α C 末変異体による白血病発症機構の解析

戸上 勝仁、北村 俊雄(東京大学医科学研究所 細胞療法分野)

9:55 間葉系幹細胞により支持される B 細胞造血に転写因子 C/EBP β が関与する

三浦 康生¹、吉岡 聡^{1,2}、八尾 尚幸¹、林 慶紘^{1,3}、横田 明日美¹、平位 秀世¹、前川 平¹
(¹京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部、²京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、³滋賀医科大学 血液内科)

10:10 低酸素応答遺伝子 HIF-1 α による腫瘍原性と造血幹細胞への作用

末岡 榮三朗(佐賀大学医学部 血液腫瘍内科)

10:25 Drug Targeting Microenvironment for Malignant Lymphoma

杉本 慶樹(名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

10:40 休憩 (15分)

疾患モデルマウス **その他** 座長 中村 卓郎(がん研究所)、本田 浩章(広島大学)

10:55 家族性血小板異常症の iPS 細胞樹立と機能解析

櫻井 政寿(慶應義塾大学医学部 血液内科)

11:10 家族性血小板異常症の病態解析

飯塚 浩光、吉見 昭秀、間野 博行、荒井 俊也、黒川 峰夫(東京大学 血液・腫瘍内科)

11:20 Meis1 標的遺伝子 Sytl1 の白血病発症における役割

横山 隆志、中武 真由香、倉田 盛人、中村 卓郎

(公益財団法人がん研究会がん研究所 発がん研究部)

11:35 Fbxl10:酸化リン酸化経路の亢進と白血病発症

本田 浩章、上田 健(広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野)

11:50 染色体逆位モデルマウスを用いた EVI1 高発現白血病発症機構の解析

鈴木 未来子(東北大学大学院医学系研究科 分子血液学分野)

12:05 c-Cbl Q367P の後天的発現による新規 CMML モデルマウスの作製と病態解析

中田 雄一郎、上田 健、本田 浩章

(広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野)

12:20 ジーンターゲティングアプローチによる RUNX1 のアルギニンメチル化修飾の生物学的意義の検討

水谷 信介^{1,2}、谷脇 雅史²、奥田 司¹(¹京都府立医科大学 分子生化学、²京都府立医科大学 血液内科学)

12:35 PAX5-PML 遺伝子導入による白血病モデルマウスの作成

早川 文彦(名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

12:45 おわりに(次回幹事の連絡)